

## 東葛しぜん観察会

### わくわく 夏のしぜん探検

田中玉枝（松戸市）

日 時：8月3日（日）13時30分～16時 天気：猛暑

場 所：21世紀の森と広場（松戸市）＜パークセンターとの共催イベント＞

担当指導員：渋谷・高橋・田中・三嶋

話の初めは「21世紀の森と広場には、松戸市内だけでなく、東京からの遠足の子どもたちがたくさん来る。今は遊んで帰るだけだが、この公園のコンセプト、自然尊重型の公園の特徴を生かし、自然に親しむ活動ができないか？SSNでやっているような自然観察会ができないか？」ということでした。考えて、同じようにはできないが少人数の指導員で、できることがあるのではと、子どもが自分たちでポイントを回る探検をやってみようということになった。



ハスの探検

まずは手始めということで、ポイントは6つ。それぞれの場所にはピンクのバンダナが折り、そばには探検内容を記した看板を設置した。受付でグループごとに、探検カード・虫眼鏡・鉛筆・地図を受け取り、やり方や注意事項を聞いて、さて出発！！

参加者はやる気満々。競争ではないので、ゆっくり自然を楽しんでの声が聞こえたか？

①におい探検（クサギの写真から同じものを探し、名前を付ける）、②ドングリの赤ちゃんさがし（スダジイで今年のドングリと、来年のドングリを見つける）、③コスモスの花に星を探そう（虫眼鏡でみてね）、④ダンゴムシレース（ダンゴムシを探して、グループで競争）、⑤虫を探そう（何か虫を探し、何の仲間かを図鑑などで、調べる）、⑥ハスの探検（ハスの葉に雨が降るとどうなる？霧吹きで想像と実際を見比べる）など。

指導員は受付と虫調べのところだけ配置、本当はあまり口を出さずに見守るということだったが、やはり思いっきり、手や口や図鑑やらを出していたらしい。でも近くを通りかかった子どもが、ダンゴムシレースだけやって帰ったとか、虫を調べていったとか、人がいることによって良い結果を生み出すことになったようだ。

全部終わったグループは受付に戻り、ご褒美のシールを受け取る。戻った人の話を聞くと：

「感動したのはハス、あんな結果とは思わなかった」男性がそう叫びました。「ダンゴムシレースは楽しかったよ、僕1番だった」と男の子。クサギの名前はクサイッパ、ニオイッパ、ゴマノハなど、なるほどの命名がいっぱい。よく話し合ってた楽しんだ様子が、見えました。そしてご褒美シールをもらうときのうれしそうな顔が、楽しかったことをちゃんと伝えてくれました。

実施までは何回かパークセンターの方と打ち合わせを行い、下見でポイントを確定したり、今回で終わりではなく、遠足の団体対応という、先を見ての活動でした。

反省点としては、最終時間を設定していない。参加者を把握できていないなど、次回に持ち越しは、いろいろありますが、この場所を生かして活用できたらと思います。